

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●ホープフルSはサートゥルナーリアが優勝

12月28日(金)に行われたホープフルS(G I)ではサートゥルナーリア(牡2歳/栗東・中竹和也厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。サートゥルナーリアは母シーザリオの産駒としてはエピファネイア、リオンディーズに続く3頭目のG I勝ち馬となり、3きょうだいによるG I制覇は母ダンシングキイ(ダンスパートナー、ダンスインザダーク、ダンスインザムード)、母ハルーフスウィート(ヴィルシーナ、シュヴァルグラン、ヴィブロス)に次いで3例目のこととなります。

●ヤングジョッキーズシリーズは川崎の桜井光輔騎手が優勝

中央・地方の若手騎手が腕を競った2018ヤングジョッキーズシリーズのファイナルラウンドが、12月27日(木)の大井競馬場(2戦)と翌28日(金)の中山競馬場(2戦)で実施され、桜井光輔騎手(川崎)が計56ポイントを獲得してチャンピオンに輝きました。荻野極騎手(栗東・フリー)が49ポイントで第2位でした。

●松木大地騎手がJRA初勝利をあげる

12月28日(金)の5回中山9日・第9レースとして行われた2018ヤングジョッキーズシリーズファイナルラウンド中山第2戦ではロードゴラツが1着となり、同馬に騎乗した松木大地騎手(高知・雑賀正光厩舎)は、JRA初勝利(2戦目)をあげました。

●林満明騎手が引退

12月31日(月)をもって林満明騎手(栗東・フリー)が引退しました。JRA通算成績は3610戦277勝で、今後は栗東・中竹和也厩舎で調教助手となる予定です。

●ルメール騎手と藤原英昭調教師が全国リーディングに輝く

2018年度のJRAリーディングジョッキーは、2005年・武豊騎手の212勝を上回る215勝をあげ、JRA年間最多勝記録を更新したクリストフ・ルメール騎手(栗東・フリー)が2年連続で獲得。ルメール騎手は最高勝率騎手と最多賞金獲得騎手にも輝き、岡部幸雄元騎手(1987年・1991年)、武豊騎手(1997年～2000年・2002年～2006年)に続く史上3人目の騎手大賞受賞者となりました。またトレーナーでは58勝をあげた藤原英昭調教師(栗東)がリーディングを獲得しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●3歳馬オメガパフュームが東京大賞典(大井)でG I初制覇

東京大賞典(G I、12月29日、大井、2000^円)は、後ろから4頭目という位置から追い上げた3番人気のオメガパフューム(ミルコ・デムーロ騎手、牡3歳、父スウェプトオーバーボード)が、1番人気のゴールドドリームとの競り合いを $\frac{3}{4}$ 馬身差で制しました。2番人気のケイティブレイブは更に1馬身半遅れの3着、エイコーンは5着、リーゼントロックは8着、アポロケンタッキーは10着、クリソライトは11着でした。

●兵庫ゴールドT(園田)でウインムートが初の重賞勝ち

兵庫ゴールドT(Jpn III、12月27日、園田、1400^円)は、3番手を追走した3番人気のウインムート(和田竜二騎手、牡5歳、父ロージズインメイ)が、逃げ粘る2番人気のサクセスエナジーをゴール寸前で差し切りました。単勝1.3倍という圧倒的な支持を集めたマテラスカイは、先手が取れず5着に敗れています。なお、サンライズメジャーは左後肢擦過傷のため競走除外となりました。

●2018年地方競馬リーディングは打越勇児調教師、吉村智洋騎手

2018年の地方競馬リーディングは、トレーナーが197勝で打越勇児調教師(高知)、ジョッキーは296勝の吉村智洋騎手(兵庫)でした。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1マリブS～マッキンジーが3つ目のG1制覇

12月26日に米国カリフォルニア州のサンタアニタパーク競馬場で行われたG1マリブS(3歳、ダート1400^米)は、M. スミス騎手を背に単勝2.2倍の1番人気に推されたマッキンジー(牡3歳、父ストリートセンス、B. パファート厩舎)が後方待機から直線で他馬を一気に突き放して4馬身 $\frac{3}{4}$ 差で快勝しました。マッキンジーは2歳時にG1ロスアラミトスキャッシュコールドフューチュリティ(ダート1700^米)を2位入線からの繰り上がりで優勝しましたが、3歳3月のG2サンフェリペSで2着(1位入線からの降着)に終わると、脚部不安を発症して戦線離脱。9月に復帰して、G1ペンシルベニアダービー(ダート1800^米)を制しましたが、続く前走11月のG1ブリーダーズクラシックは先行して12着と大きく崩れていました。

●G1アメリカンオークス～コンペティションオブアイデアズがV

12月29日にサンタアニタパーク競馬場で行われたG1アメリカンオークス(3歳牝、芝2000^米)はコンペティションオブアイデアズ(牝3歳、父スパイタウン)が最後方から鮮やかに差し切って優勝。重賞初挑戦でのG1勝ちを決めました。管理するC. ブラウン調教師はこれが2018年20回目のG1制覇でした。